

議会だより

News Letter From Hachijo Town Assembly

No.

173

2015.2.25



平成 27 年 1 月 15 日、八丈町議会議員に対して、東京都島嶼町村一部事務組合による「八丈島一般廃棄物管理型最終処分場」（水海山）で、現況説明会が開催されました。

改選後初の定例会

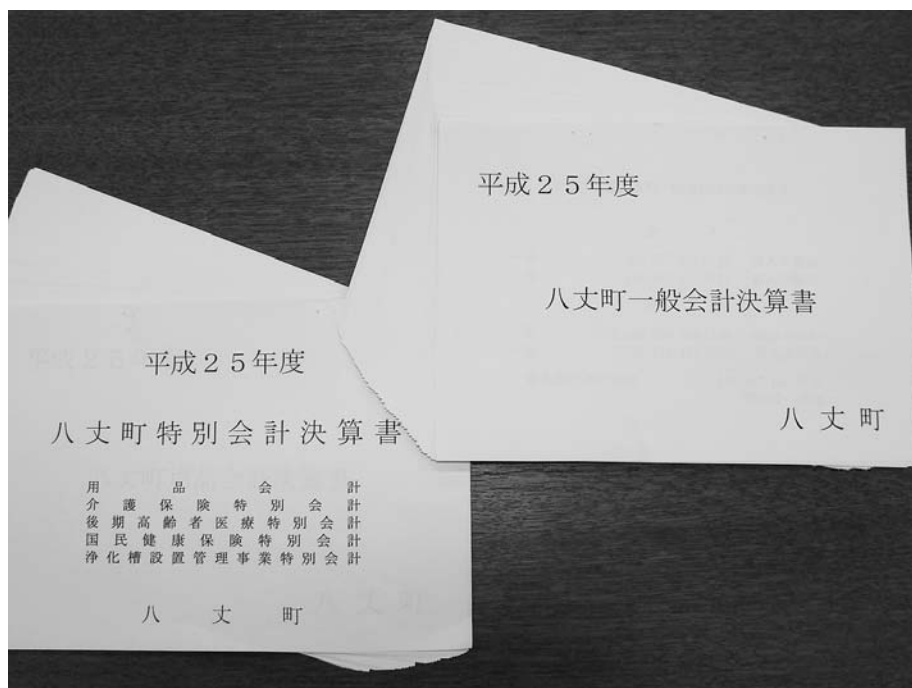
第 4 回八丈町議会定例会
平成 26 年 12 月 5、8、9 日開催

目次

- 無駄の削減、適正な予算の見積りと執行を …… 2P
- 一般質問 …… 3P
- 定例会の質疑から …… 11P

(平成26年12月5、8、9日開催)

改選後、新しい体制が整い初めての議会では、新人4人を含める8人の議員が一般質問に立ちました。今後4年間この体制で議会運営を行います。が、人口減少や産業の低迷が懸念される中、最大限の努力を惜しまぬよう取り組んでいかなければなりません。



平成25年度八丈町一般会計・特別会計決算書

12月議会では補正予算
審議の他、25年度の決算
認定を行います。一般会
計・特別会計歳入総額1
00億3431万689
4円、歳出総額101億
1907万3317円の
決算が認定されました。

經常収支比率について
は70から75%が適正とさ
れています。25年度は
88%と高い割合となつて
います。その背景には、
庁舎管理費の増加、特別
会計、公営企業への繰り
出しが増加している一方、
一般財源が減少している
ことがあります。他会計
への繰り出しはいっそう
増加することが見込まれ
ておりますが、町として
は今後財政運営計画を立
案し、それに沿ってさら
なる経費の削減と予算の
有効活用を図るとのこと
でした。繰出金の増大は、
一般会計予算を圧迫し、そ
れ以外の事業への影響が
懸念されるところです。財
源確保の努力をするとと
もに、どこが無駄な事業

なのか具体的に明らかにし、経費削減に対して知恵を出して行かなければなりません。

25年度の決算認定と同様に、予算の積算が甘いと指摘しました。また人件費や材料費が高騰している中、公共工事の入札の不調も増加しています。が、予定されている事業については迅速で正しい設計を行い事業運営が滞ることのないよう要望しました。

無駄を省こうとすれば、まだまだ可能です。先を見越した適正な予算編成と事業計画を行うことによって、新しい挑戦や有効な事業に予算を配分できるような取り組みを求めたいと思います。

職員研修の成果は何か

答

入庁3年目以下の職員が中核となり活躍している



山下 崇 議員

◆ 所要時間 28分

いくことが困難である。

図 政策実現のための取り組みについて、各課を支える職員が、各施策を庁内を横断的に協議を行う仕組みを構築すると以前に答弁されているが、その進捗状況は。

図 職員の人材育成について、繰り返し質問となるが、組織運営には人材育成は大きな柱となる。依然として窓口での職員の対応について住民から多くの意見が寄せられている。職員研修の実施状況と成果について伺う。

図 総務課長 新人研修が6日間、入庁3年以下の職員が全体の20%を占め組織の中核となって活躍していることが成果と考える。しかし、個々人のストレス耐性や職層のバランスを取って

図 企画財政課長 庁内八つの課にまたがる、雇用対策、定住促進策のプロジェクトチームを9月に発足させた。来年度に策定する八丈町基本構想の後期基本計画への政策提言を最終目標とする。

図 議会では4名の女性議員がいる。そして、初の女性副議長も誕生している。しかし、役場の執行部には女性は一人もいない。何が問題なのか。

図 町長 来年度は、女性管理職が誕生するよう努力する。



町長の任期満了までの重点項目は

答

人、物、金の流れを作る施策を行う

図 町の課題解決に向けた施策について、従前から何度も各種の策を講じるよう訴えてきたが、町長はこれから任期満了までの1年間何を重点項目として町の舵取りを行うのか。

図 町長 人、物、金の流れを加速させたい。スポーツ誘致、旧末吉小学校の活用、地熱発電の推進をしていく。

学校教育にタブレット端末導入を

答

試験的に配布し、指導できる教員の育成を図る

図 教育水準の向上と情報化社会への対応について、重ね重ね質問しているが本年も中学校での科学賞受賞が続いている。すでに、中高での連携が図られていて好循環が生まれている。今後、町としてどのような目標を掲げ支援していくのか。また、情報化社会への対応は不可欠である。児童生徒に対しタブレット端末を支給し、正しい使用法を学ばせる考えはないか。

図 教育課長 サイエンス分野における取り組みは、教育水準をレベルアップする原動力になる。現在坂上地区で行われているサイエンスクラブの活動を全島に広げる活動を支援していく。情報化に対応できる教育は、試験的にタブレットを

配布し、指導できる教員の育成を図る。

図 オリンピックを見据えると言いつながら、島内ではほとんど英語が通じない。島の玄関口である空港でさえ英語は通じない。町役場の窓口はどうなのか。町の英会話教室が役に立っていない。現状を把握しているのか。

図 町長 自分自身も習得に努力する。

図 総務課長 庁内に3名程英語が使える職員がいる。採用試験においても語学を重視する。

図 教育課長 英会話教室は現在136名が受講し59%の継続率である。特に小学生の部において、内容を精査し実効性のあるものにするため努力する。

ポットホールを文化財指定に

答 新たな裏付けが必要と考える



水野 佳子 議員

◆ 所要時間 20分

岡末吉地域、三原山系に730個という甌穴群（ポットホール）が発見され、マスコミ等にも大きく報道された。昨年10月、観光協会が独自に調査を開始し、貴重な文化財として保存していくべきだと教育委員会に申請をした。しかし、町は指定に至らずとの見解を示した。このまま放置すれば大切な観光資源としてばか

りではなく、貴重な自然遺産が荒れ放題になってしまいうので、町は本格的な保護を考えるべきである。

岡 教育長 文化財専門委員会では、ポットホールに対しては専門的な知識がなく、天然記念物として認めることは困難である。貴重な観光資源であり、自然価値は認めるが、今の段階で指定することは難しい。指定するには新たな裏付けが必要と考えるので、予算を付けて再度検討する。



ポットホール

10月5日以外に防災訓練の予定があるか

答

3月頃に自衛隊による救出訓練が予定されている

岡 先日、大里地区において、地域住民を対象に土砂災害に備えるワークショップが開催され、地域の実情に合った有意義な機会となった。毎年行われている10月5日の防災訓練だけではなく、各地域毎に具体的な訓練の予定はあるのか。

岡 総務課長 10月5日の防災訓練を含めた訓練の見直しを図りたいと思っている。今年、具体的には3月頃に自衛隊による救出訓練が予定されている。小規模単位、小さな地域毎の訓練が大切なので随時考えていきたい。

ヤスデ対策はコイレットの配布以外ないのか

答

ヤスデが生息しにくい環境を作ることが重要

岡 今年、大量に発生しているヤスデについては多くの住民が頭を痛めている。特に大里、甚太方面からの苦情が多く切実である。町の対策としてコイレット（殺虫剤）の配布以外はないのか。

岡 住民課長 ヤンバルトサカヤスデは、通常、人的や動植物に害を与えないが大量発生には不快感がある。過去2年間は発生が抑制されていたが、今年は気象等の影響で大量発生している。殺虫剤の散布以外に現状では対策はないが、全島でヤスデが生息しにくい環境を作ることが重要と考えるので、町広報などで周知する。また、町としてもできる限りの対応をしていく。

災害時におけるボランティア受け入れと社会福祉協議会の役割は

答
具体的に何ができるのか話し合う



沖山 恵子 議員

◆ 所要時間 13分

全国的に大規模災害が多発している。被災した場合に行政だけで頑張る所もあるが、多くの被災地では、社会福祉協議会（社協）を中心に災害ボランティアセンターを立ち上げ全国からの救援物資やボランティアを受け入れている。八丈町の地域防災計画にはその辺の事が書かれていない。

災害時の災害ボランティアセンターの運営や社協の活用についてどのように考えているか。

答 総務課長 指摘の通り

町の地域防災計画には細かい記述はない。しかし、ボランティアの役割はとても重要で、全国的に取りまとめについては社協を中心に行われているのは承知している。これから町と社協の両方で具体的に何ができるかという所から話し合いを始めたい。

町防災計画にある災害ボランティアの募集は実際やっているのか。社協では10年以上前からお願いしてきたがなかなか進まないの、協定を結ぶ等スピードアップして進めるべきである。

登録制度においてもそこまで至っていない、今後社協と具体策を検討していく段階に留まっている。

洞輪沢温泉の再開を

答
ハード、ソフト両面から抜本的検討が必要状況にある

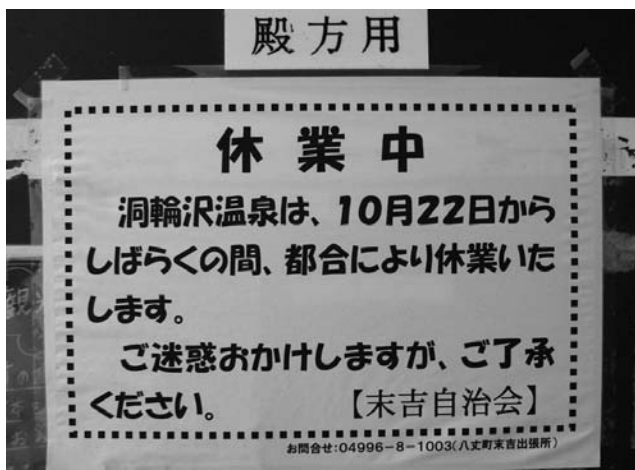
末吉の洞輪沢温泉は、管理人の問題、レジオネラ菌の問題等で10月から休止している。再開には施設の改修、井戸の掘削等多額の費用が掛かるという話で、自治会から町に予算措置をお願いしているという事である。

町洞輪沢温泉は平成27年度の当初予算に組み込んでもらえるのか。検討してからののか。末吉の住民はこのままなし崩しに温泉が無くなるのではないかと心配している。洞輪沢温泉は昔からある無色透明な温泉で、他と違い10分20分と長く入り湯治ができる温泉である。八丈の観光のためにも色々な温泉があった方が良くと思う。早めに予算措置をして継続するべきである。

答 総務課長 洞輪沢温泉

は、昭和53年から末吉自治会で運営を開始しており、最後のメンテナンスから20年経過している。近年温度低下が著しく、今年度みはらしの湯とセットでメンテナンスの予算を用意していたが、他の温泉との兼ね合いで見送りになった。そのような中、レジオネラ菌、電気代の高騰、運営主体の問題が発生し、ハード、ソフト両面から抜本的な検討が必要という状況になっている。温泉事業は、ふれあ

いの湯開業以降20年で累計320万人のお客様に利用して頂いている。洞輪沢温泉はそれより古くから地元の方々、サーフィンの方々と非常に多くの方に楽しんで頂いている施設である。今後はハード・ソフトをどのような形でやって行けば良いかをもう一度考え、予算が組み立てられるかを検討する対応を行う。来年度以降どうするかに論点が移るといふことで理解を願う。



洞輪沢温泉休業中の張り紙

室内運動場の早期建設を

答 平成30年度を目途としている



浅沼 憲春 議員

◆ 所要時間 10分

島内外のアマ、プロの選手に、風が強く雨の多い八丈町に室内運動場の建設を希望される方が多くいる。建設によりスポーツ来島者の増加、高齢者の健康増進（炎天下や寒さ対策）により医療費の削減、各種イベントの雨天時の代替施設、大学やプロ選手の合宿、オリンピックの事前合宿地等に多目的に使用でき、スポーツで来島者の増加を図るのであれば必要不可欠な施設である。

図 スポーツでの人脈はある



が、施設面の整備の遅れを補うためにも、早期の建設に取り組むべきだと考える。

図 教育課長 スポーツや文化の各種イベントを通して島外者の招致と交流を町づくりの重要政策であると認識していて、室内運動場の必要性は実感している。平成28、29年度は三根公民館建設を予定していることから、室内運動場は平成30年度を目途としていて、予算の確保を含め早急に取り組む。

ふるさと納税の推進と取り組みを

答 寄付をした方々に特産物のPRをすることを主としている

図 2008年4月に公布された「地方税法等の一部を改正する法律」により導入されたふるさと納税制度の活用をするべきである。総務省の発表では2011年には適用者が74万人、寄付金額649億円と全国では多くの自治体を取り組み実績をあげている。八丈町としても歳入の増加を図るため積極的に取り組み、財政に寄与でき、特典として八丈町の特産物（くさや、焼酎等）を活用し、生産者への売上増加と特産物のPRができるものと考えている。

図 総務課長 平成20年度よりふるさと納税「八丈応援団」で実施している。直近の実績は平成23年度、3件、12万2000円。24年度、6件、31万円。25年度、7件、50万2000円。今

年度（11月24日現在）、6件、56万1000円。平成20年度導入当時の検討にあたり、寄付をした方々に記念品を差し上げる趣旨ではなく、八丈町の特産品のPRという考えで、ホームページには積極的に礼があるという表記を明記しない形で実施している。最近のふるさと納税における各自自治体の動向は通信販売状況

で、ネットではランキングまで登場する過熱振りを見せている。町には特産品で釣るようなことは本旨から外れているのでやらないで欲しいという声も多く寄せられている。町の財政事情から、背に腹はかえられぬという方向変換もありうると思うのだが、お寄せいただいた方々の気持ちを考慮しながら検討したい。



現在、寄付をしていただいた方にフリージアと焼酎を送っている

島と島の交流を盛んに

答
マウイ島と南大東島との交流を
継続したい



奥山 幸子 議員

◆ 所要時間 35分

今年は、町制60周年とマウイ島と姉妹島提携50周年の節目にあたり、マウイ島から前進太鼓のメンバー52名が来島し、交流を深めた。南大東島についても、毎年10名程度の生徒の来島や議員の訪問などを通じ交流が続いている。互いの島の歴史や文化を知ることが、産業や観光や教育など共通の課題の解決に役立っていくと考える。

岡マウイ島との交流を継承する考えはあるか。

答 総務課長 島に限らず、

色々な町村との交流も大切だと認識している。マウイ島側のホームステイの課題や為替レートの変動をまともに受けるので、状況を見ながらの企画立案が必要である。ロードレースには2人招待する。

岡 英語教育を目的として中学生が訪問するプロジェクトをつくれないか。

答 町長 多額の旅費がかかることが問題であり、行きたい生徒は多数いるので公平性を確保しながらの選抜は難しい。

岡 南大東島との交流の拡充を考えているか。

答 教育課長 もちろんこれ

からも交流を考えているが、交通費だけで10万円かかるので予算面の課題がある。具体的な拡充については今後の課題としたい。

和牛オーナー制度の拡充を

答
牧野運営審議会で審議し判断する

ふれあい牧場には現在35頭の和牛が放牧されているが、

畜産農家は数軒で増える傾向にない。3年前に始まった和牛貸付事業もいまのところ拡がりがないように思う。観光や産業にとって、ふれあい牧場の役割は決して小さくなく、この牧場の利点を活かしかる施策が必要である。



ふれあい牧場の和牛

岡 和牛のオーナー制度を定着、拡充させるべきだと思うが町の考えは。

答 産業観光課長 和牛の貸し付けは徐々に増えている。繁殖牛の血統改良などによる普及促進が考えられるが、牧野運営審議会での審議事項となる。

岡 住民に対する広報活動はしているのか。わかりやすいガイドブックをつくるべきか。

答 現在のは町の広報で知らせている。興味のある方には、直接町に向いてもらい内容を説明している。ガイドブックは内容を吟味し作成していく考えだ。

岡 屠場の整備を行い、島内で肉が食べられるようにできないか。

答 屠場は、牛とヤギのときつ解体ができるよう区分けされていて、食肉加工施設として整備されているので島内での流通は可能である。

岡 施設があるのであれば、利活用すべきだ。まずは、これまで島外に出していた廃牛を食肉利用してほしいと思うが。

答 町長 ブランド牛を開発するなら意味があるし、支援も考えるが、廃牛では意味がない。

中学生の部活動遠征費補助金の増額を

答

厳しい財政事情の中からできる限りの補助を行っている



山本 忠志 議員

◆ 所要時間 32分

先日、パキスタンの少女マララさんが、ノーベル平和賞を受賞した。

「一人のこども、一人の教師、一冊の本、一本のペンがあれば世界を変えられる」という、国連本部での彼女の演説は、教育の大切さを訴える強烈なメッセージとなって、全世界に向けて発信された。

八丈町においても、教育支援の幅の拡大は切実な課題であり、次の点を伺う。

① 中高生の部活動の遠征費の補助金を増額できないか。

か。

〔答〕教育課長 中学生については、町の厳しい財政事情の中から、八丈、東京間の交通費と都内の交通費を補助している現状である。また、高校生については、都大会ベスト8以上に勝ち進むと八丈町体育協会より往復交通費の補助が出るようになってきている。

② 国検定試験等の受検料の補助は考えられないか。

〔答〕グローバルな教育の観点から、中学生に英語検定試験を受けさせるよう検討する。

旧末吉小学校跡地の有効活用を

答

複合的利用方法を検討中

旧末吉小学校跡地の有効活用は、末吉地区住民はもちろん、全島民の願うところ。夏季限定となっている現状の改善は喫緊の課題である。

③ 同施設の通年安定活用、およびそれに連動した雇用促進のための施策に取り組んでほしい。現在の進行状況はどうか。

〔答〕企画財政課長 複合的利用方法として、三つの方針で検討中。

① 大学生の受け入れ
② 外部との連携による施設の誘致

③ 地域主体のアイデア支援

二点目の施設誘致については、島外の方から語学学校開設の提案を頂いている

が、宿泊施設の確保等クリアすべき課題がある。また地域の理解や協力も必要であり詳細はこれから。

三点目のアイデア支援については、現在、朝市や高齢者向けサロン開設の提案を頂いている。

④ 園具的スケジュールは。

● こんな質問もしました

「おもてなしの観光戦略」を

〔答〕 小中学生のアイデアを活用した観光案内板を設置できないか。

〔答〕 まずは学校側と相談して進めたい。

〔答〕 公衆トイレとして提供していただけ場所を島内の各施設に声をかけて、お願いできないか。

〔答〕 公民館等のトイレを公衆トイレとして提供することは可能。他の関係機関にもお願いする。

〔答〕 観光スポット等の維持管理や改修（駐車場整備、トイレの洋式化、ダイビングスボット・ゴルフ場整備等）の

〔答〕 大学生の受け入れ▽早めに相談し、拡大の方向で検討する。

施設の誘致▽11月に話を伺ったばかりなので、これから話を進めていく。

地域アイデア▽すでに話を進めており、年明けに試行的にサロンと朝市を実施する予定である。

ための補助を考えてくれないか。

〔答〕 町管理下のものは年次計画に沿って行っているが、民間のものについては難しい。現在、名古の展望、ふるさと村、宇喜多秀家の住居跡については所有者と土地の賃貸借契約をして維持管理している所もある。

〔答〕 空き家の放置は観光地のイメージダウン。また、倒壊や防犯上の課題もある。町の考えは。

〔答〕 まず、所有者にたどり着くのが困難。たどり着いても町では手が出せないことも多い。しかし放置はできない。企画財政課で進めている空き家調査と合わせて検討する。

八丈島の観光の方向性は

答 雇用対策と後継者育成を図る



山下 巧 議員

◆ 所要時間 11分

方向性について回答を。

〔産業観光課主幹 来島者〕数は昭和48年をピークに減少し、温泉、運動場、多目的ホールの整備でPRしてきたが、航空運賃が平成11年に往復2万1100円が現在3万円程になりツアーの減少で厳しい状況、今後の方向性はスポーツ、文化交流でロードレースや合宿、産業の振興を含め総合的に雇用対策と後継者育成で活性化対策をしていきたい。

〔来島者数〕が平成11年まで16万人以上だったが現在11万人台になっている。このまま減り続けると観光に関わるタクシー、宿泊、飲食店、売店の経営者から自分の世代で廃業し子供に継がせるのは厳しいとの切実な意見を聞く。これは跡継ぎが島へ帰らないため人口減、税収減、高齢化、福祉負担にも直結し深刻な負のスパイラルに陥ってしまった。一方、ホテルの新築計画も聞くが島全体の活性にはほど遠い、この現状を町はどの様に分析し、今後の

ていないのでは。

〔連携〕は不十分だった。昨年度まで観光振興実行委員会が主体だったが、本年度から町主導で取り組んでいきたい。

「黄八丈沼つけ田」の保全を

答 文化財専門委員会を検討したい

〔八丈島〕には鎌倉時代あたりから八丈絹（黄八丈）が生産されている。後に八丈島の名称もこの絹織物から付けられたと言われ、先人が残した黄八丈の技術は八丈島に計り知れない貢献をしてきた。近代観光においては伝統織物を生産するだけではなく、黄八丈の染織技法を活用した新たな観光資源として泥染め体験の出来る「沼つけ田」の保全をする必要がある。奄美大島では泥染め公園を整備し多くの観光客が訪れている。昔から八幡神社周辺には代

官屋敷が管理していた「沼つけ田」があったが、一帯に客土が進み消滅しつつある。昭和30年代まで黒染めに使われた沼がホタル水路近くに残っているのも、「黄八丈沼つけ田発祥の地」として周囲の環境も含め名所旧跡として整備してはどうか。

〔教育課長 沼つけ田〕については文化財専門委員会を検討していきたい。

〔和泉公園、ホタル水路、沼つけ田の〕一帯をまとめて観光スポットとし泥染め体験にも使える整備が必要。

〔産業観光課主幹 体験メニュー〕の充実を進めて行きたい。田園整備事業で田植え稲刈り体験をしているがその一角を利用することは可能なので、運営主体の体制作りなどを関係機関と協議したい。



鴨川流域は水田が広がり江戸時代のメイン通り

ヤスデ対策における薬剤配布と購入分の負担軽減を

答
来年度以降、負担割合等を検討する



菊池 睦男 議員

◆所要時間 35分

岡甚太、永郷方面の都道の大量発生は、都の責任でやるべきでは。

岡 住民課長 末吉地域や大賀郷大里、西見、甚太、永郷地区に大量発生し、住民配布用のコイレットも昨年の3倍以上である。都道のヤスデ駆除は、支庁内に特別清掃班を組織し迅速に対応していくので、都道の大量発生があれば支庁土木課に連絡を。

岡 コイレット5袋無償配布では足りない。増量するか

購入分の負担軽減を。

岡 1月広報に撒き方を掲載する。軽減措置は、来年度以降、負担割合等を検討したい。



大量発生したヤスデ

交通弱者のためにタクシーチケット制や乗合タクシーの施策導入を

答
課題の一つとして考える

車を持たない人、障がい者や高齢者等の交通弱者に対する施策を行っている自治体がある。

岡 実態調査、および把握をして、八丈町でも施策導入のための手順や対応の検討を図るべきである。

岡 福祉健康課長 自助、共助、公助の整理が必要で、地域事業者の協力も不可欠である。障がい者、要介護認定者、年齢要件、世帯要件、自動車の有無、市町村民税非課税者等、タクシーチケットを配る対象者の要件が多々あり、中身としては、月4000円のタクシー券を2枚、年間24枚配布するとか、おでかけタクシー券として5000円分購入し、3500円は本人負担、

1000円が自治体負担、5000円はタクシー業者がもつなど、年間1万円前後の助成をしている自治体が多い。施策導入にあたっての手順としては、対象者や助成金額の設定、タクシー事業者の協力等クリアすべき課題は多くすぐにはできないが、課題の一つとして考えたい。また、乗合タクシーについては、福祉有償運送運営協議会の中で協議し勉強したい。

公立病院改革プランによる影響は

答
医療分業を図り対応する

政府は、2025問題とあって「団塊の世代が75歳になると超高齢化社会になり、医療、介護、年金など給付削減、負担増が必要」とのプログラムを策定している。その考えを具体化したのが「社会保障、税一体改革」で、その路線の下で「骨太の方針2014」を

閣議決定した。そして「医療、介護総合法」で医療費抑制施策が具体的にスタートすることになる。この法律で八丈町の地域医療にどのような影響が及ぶのか。

岡 入院病床数43万床減少を見込んでいるが。

岡 病院事務長 八丈病院は一般急性期と回復期病床である。現在の病床数を維持したい。

岡 公立病院改革プランの八丈の病院への影響は。

岡 電子カルテシステム導入、院外処方による医薬分業を図っている。

岡 赤字経営の八丈病院は存続できるのか。

岡 公営企業管理者 八丈病院は一般会計からの繰り入れで経営している。地域ケア病床等の経営改革を図る。医師6名が常駐し、安定した診療を行い、病院存続に努める。

第四回定例会の質疑から

町歌の作詞者、作曲者に謝礼を出すべきでは

奥山幸子議員 謝礼を差し上げるのが当然だと思うが、何も無いのは腑に落ちない。

総務課長 名前が永遠に残ることが一番の名誉だと思っている。

奥山博文議員 せっかく縁があつてお付き合いが始まつたので、ストレチャ、フリージア、トビウオなどを贈呈すべきだ。

総務課長 作詞者には東京在住なのでフリージアを送り、作曲者は島内在住なので別の形でお付き合いをしたい。

町営バス運転手の募集要項改善を

奥山博文議員



バスの運転手を探すことが困難な時代なので、免許証保持者ではなく、やる気のある方を募集して免許証を取得させるような改善をしないと採用に至らないのでは。

公営企業管理者 即戦力を求めているので、引き続き募集をかけながら職員の再任用の形でバス事業を展開したい。

地熱発電の事業展開をスピードアップすべきだ

山口英治議員



地熱館入館料（一人100円）の有料無料の議論があるが町の考

えは。

企画財政課長 庁内会議で、歴史民俗資料館など他の公共施設を考えると有料にしなければいけないとの結論となった。

山口英治議員 有料であることにより発生する事務処理や、今後地熱発電をどうするかという意味で非常に重要なPR施設であることも考慮するべきだ。

町長 地熱発電は続けて行きたいと考えている。エネルギー政策の関係で電気の制度が変わり、この話しが多くなることを恐れている。観光PRもあるが、その様な部分も含め地熱館を購入した経過があるので、入館料について検討したい。

山口英治議員 地熱館を購入して、全国に「やるんだ」という意思表示をした。調査はある程度のところでは切りをつけて、正の部分、負の部分を踏まえ決断し、早めに動くべきだ。

町長 一番の問題である臭

気は技術的に抑えることができると思うが、計画は立てたが手を上げる人がいるのかということがある。東京都環境局で一生懸命やっていたにいたっているが、まだ形は整っていない。ある程度の動きはあるのでそういう部分で話しを進めたい。

ヤスデ駆除の薬散布による環境への影響は

岩崎由美議員



コイレットで町がコントロールできる部分は良いが、コイレット

が効かないということで他の薬を撒く方も出てきている。薬のコントロールの問題と環境への影響は。また、子どもが散布したコイレットを緑の砂と言つて遊んでいる所を見かけたが、子どもたちへの教育的な注意方法は。

住民課長 水系に対する影響が極めて少ないということとでコイレットを導入しているが、その他の薬の影響

は把握しかねている。広報の中で正しいコイレットの使い方、大きいことだが環境への影響もあるということで注意喚起したい。保育園には撒いていない。小学生以上であれば食べられるものではないと認識しているであろうということをもつて今後も広報活動等で案内したい。

農業担い手の拡充を

山下崇議員 かなりの額が農業担い手に投入されているが、まだまだ増やすべきだ。

産業観光課長 来年度、担い手総合協議会の中で議題として提案したい。また、農業基本構想も見直しを行うので、担い手研修センターという新しい項目を設け、現在の4年で3名を3年で6名のような計画にできないか検討する。

町ナビ

名門校、明治大学と早稲田大学のサッカー部による「八丈島合同強化合宿」が2月3日から6日まで、両校選手と監督・コーチら総勢37人が参加して行われた。最終日の6日、南原スポーツ公園では30分ハーフのトレーニングマッチ「早明戦」が行われ、サッカー関係者や島民も観戦した。スピード感溢れる展開と、球際の厳しい争いは迫力満点。前半にコーナーキックのこぼれ球を押し込んだ明大がこの1点を守りきった。



ハーフタイムに円陣を組む、早稲田（手前）と明治（奥）のイレブン

主な議決事項

12月定例会 平成26年12月5、8、9日開催

- 専決処分事項の報告及び承認について
(平成26年度一般会計補正予算)
 - 専決処分1件
 - 平成26年度八丈町一般会計補正予算
ほか補正予算7件
 - 八丈町歌の制定について
 - 八丈町議会議員の議員報酬、期末手当及び費用弁償支給条例等の一部を改正する条例
ほか条例改正6件
 - 中道伊郷名線道路改良工事請負契約の変更
町道の路線の認定について
 - 平成25年度八丈町一般会計決算認定について
ほか決算認定5件
 - 平成25年度八丈町一般会計継続費精算報告について
 - 議員の派遣について（フリージアまつり表敬訪問）
- 全員協議会** 平成27年1月15日開催
- 八丈島一般廃棄物管理型最終処分場の現状について
 - 旧末吉小学校の活用について
 - 地熱拡大検討について
 - 新クリーンセンター予定地について
 - 航空運賃について

編集後記

10月に誕生した新人議員5人のうち4人が一般質問しました。これまで活動してきたそれぞれの得意分野の課題をとりあげ、なかなかいい質問をしていたと感心しました。これに対して執行部の回答は、説明はとても丁寧でしたが、内容はきわめて慎重なものでした。議員経験が長くても、質問内容をそのまま受け止めて予算化されることは多くはありませんから、ある意味当然のことだったかもしれません。

しかし、住民の願いを説得力のある要望に変えて行政に伝えるのは、議員の重要な仕事です。あきらめずに繰り返し行政と向き合い、行政を動かしていくよう努力したいと思います。

一般質問については、町のホームページで動画配信により、執行部と議員の微妙なやり取りが読み取れますので、ぜひのぞいてみてください。

奥山 幸子

発行人 八丈町議会議員 土屋 博

編集 議会だより編集委員会 委員 山本忠志 山下 崇 岩崎由美 奥山幸子

〒100-1498 東京都八丈島八丈町大賀郷 2551-2 tel 04996-2-2788 fax 04996-2-5575